



JSHRM WVN研究会
8月勉強会

原 有貴子
2021年8月27日

目次

“変わらないマネジメント”とは何か（葛西さん）

【再掲】WWNのめざす姿とFY2021の活動計画

今月は、葛西さんより、「“変わらないマネジメント”とは何か」というテーマでお話いただきます

1. FY2021の月次勉強会のスケジュールとテーマ

月	日	テーマ	担当
4月	4/16 金	✓ FY22活動計画 ✓ Human Experienceの未来 ～組織と個人の観点から～	原
5月	5/28 金	✓ HRのキャリアモデル ～田代先生のキャリアを うかがおう！～	田代 先生
6月	6/25 金	✓ 70歳までの就業に向けた高齢 者雇用のあり方 ～調査研究結果のご共有～	藤本さん
7月	7/27 火 月例 会	✓ 都合により延期	原
8月	8/27 金	✓ “変わらないマネジメント”とは 何か	葛西さん
9月	9/15 水	✓ 愛社精神を語る	岡崎さん

月	日	テーマ	担当
10月	10/8 金	✓ 中小企業の人事制度（仮）	津留さん
11月	11/12 金	✓ タレントエコシステムのこれから ～デジタル化社会を生き抜く ために～	原
12月	12/3 金	✓ 中島JSHRM会長との対談 ～Purposeと働き方のこれから ～（仮）	中島会 長・原
1月	1/14 金	✓ 経営資源と人材マネジメント の変化（仮）	赤木
2月	2/4 金	✓ ミドルエイジの転職 ～Part.2～	藤本さん
3月	3/9 水	✓ 未定	未定

“変わらないマネジメント”とは何か

※発表資料は別紙参照（会員限定）

ご発表を受けて、参加者で以下のようなディスカッションを行った

ディスカッションサマリー

- ✓ システム思考と「変わらないマネジメント」の関係性は？
 - システム思考も、成功と成長も、昔からあるものなので、新しいものではない
 - 昭和時代の「経営理念 = 変わるべからざるもの」といのは合わない
 - ⇒ 環境変化により一瞬でビジネスが変わる現代においては、ビジネスに応じて変わるべきもの
 - ⇒ 経営理念は変化するもの。一方で、その背景にある「経営哲学」は変わらないものもある
 - 例えば、安全やD&I等、ビジネスに応じて変えるべきではない経営哲学はある
(一つの北極星的なものとしてブラさない方がよいものもある)
 - 言語化することは変えてはいけない
 - 人事の仕事はルーティンが多く、思考行動がパターン化されやすい
 - 変化パターンを意識せずにやっていたり、脊髄反射で対応してしまったりしていないか？
⇒ なぜやらねばならないのか、目的や理由、因果関係を考えることが重要
- ✓ システム思考はものの見方として使えるが、人事や経営マネジメントの現場において実践的ではない？ どう有効に定着させるのか？
※システム思考≒体質改善 (≠対症療法)
 - 1つの解決策で物事が解決するわけではない
 - ⇒ 対症療法は対症療法として使うのは悪くないが、解決策だと誤解するべきではない
 - ⇒ 全体を俯瞰的に時間軸も含めて捉え、物事の因果関係をきちんと考えるべき
 - ただ、全体を全て捉えることは不可能。「全体が見えていないことを意識する」ことが重要
 - 従来の思考・感情・行動をガラッとシステムごと変えられる人がリーダーシップを発揮することができれば変えられるが
- ✓ 人に寄り添う = 人の変化は時間をかけて起こっていることに気付けるか
⇒ 反応ではなく、変化の創造
- ✓ 成功（短期的）と成長（長期的）の両立が重要
 - 人事はComfortableを提供することを求められがちだが、成長はUncomfortableからしか生まれない
 - 但し、成長のために破壊したら、超回復が必要